

財団法人 日本産業技能教習協会
平成17年度事業報告書

平成17年 4月 1日 ～ 平成18年 3月31日

種目別実績

	講習名	17年実績 (回、人) 平均	16年実績 (回、人) 平均	対前年 (%)
1	フォークリフト運転技能講習	27回 495人 平均 18人	28回 554人 平均 20人	89
2	車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積込及び掘削用)	13回 98人 平均 8人	11回 86人 平均 8人	114
3	車両系建設機械運転技能講習 (解体用)	6回 22人 平均 4人	6回 18人 平均 3人	122
4	玉掛技能講習	17回 446人 平均 26人	19回 453人 平均 24人	98
5	小型移動式クレーン運転技能講習	15回 172人 平均 11人	14回 194人 平均 14人	89
6	ショベルローダ運転技能講習	6回 23人 平均 4人	5回 21人 平均 4人	110
7	ガス溶接技能講習	12回 157人 平均 13人	11回 183人 平均 17人	86
8	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	6回 222人 平均 37人	6回 217人 平均 36人	102
9	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習	4回 32人 平均 8人	4回 63人 平均 16人	51
10	地山の掘削作業主任者技能講習及び 土止め支保工作業主任者技能講習	12回 156人 平均 13人	12回 142人 平均 12人	110
11	足場の組立て等作業主任者技能講習	12回 287人 平均 24人	15回 439人 平均 29人	65
12	型枠支保工作業主任者技能講習	6回 99人 平均 17人	6回 68人 平均 11人	146
13	各種特別教育および各種安全衛生教育	20回 277人 平均 14人	18回 502人 平均 28人	55
	合計	2486人	3077人	81

受講者数等の推移（過去5年）

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
受講者数	5,450人	4,283人	3,826人	3,077人	2,486人
講習収入	65,938千円	57,749千円	53,798千円	48,000千円	43,574千円

講習事業概要

16年度から17年度にかけ、大きく受講生が減少している理由は、足場、特別教育等の出張講習の一部取りやめによるものが大きい。それに代わるべきものとしては、宣伝周知活動の推進による新規顧客の獲得等を計画する。

重点活動

17年度事業計画を立てる際に重点活動とした項目について報告する。

宣伝周知活動の推進：目標どおり、平成17年9月、Webサイトを開設した。

運営は職員に委任し、個人で運営している。一日約100件のアクセスがあり、宣伝周知活動として効果が出ている。また、Webサイト開設後、資格取得応援を内容とする雑誌等から複数の問い合わせがあり、さらなる効果も期待できる。

受講生増としては、特に東京本部の作業主任者系の技能講習に効果が出た。開催前に定員（40人）に達する回もあった。18年度には、さらに効果が波及すると予測している。

組織体制の整備：本年度は、登録教習機関としての監査（8月）、公益法人としての監査（12月）というように、外部の監査が重なった。業務の合理化を図っていた時期にこのような監査を受け、問題点が改善指導項目として、さらに明確になった。

年度中の実績として特記すべき事項はないが、18年度にかけて、事務処理、会計処理規定の整備という形で、業務処理の改善、合理化を目指す。

その他

17年度の事業運営におけるその他事項について報告する。

教室移転：経費削減、環境向上の一環として、神田教室の移転をおこなった。同ビル内の部屋の移転であるが、これにより、貸借料は約3割減となり、経費の削減に大きく効果が出た。

また、坪数は変わらないが、机等の配置を工夫したことにより、講習教室の環境も向上し、受講生からの不満（席が狭い等）がゼロになった。